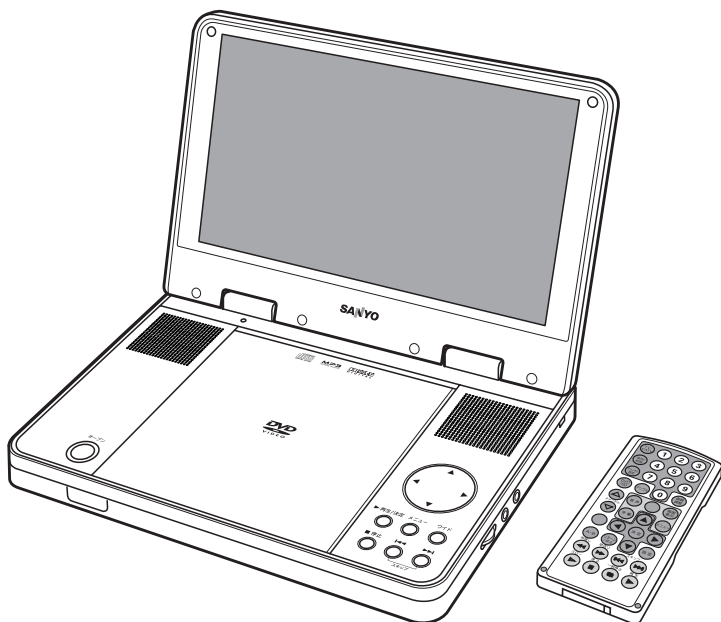
取扱説明書

SANYO

ポータブルDVDプレーヤー
品番 DVD-HP91T

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

もくじ

はじめに

準備

再生

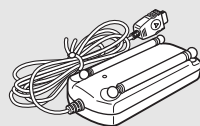
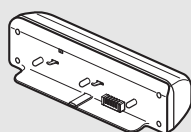
テレビを見る

システム設定

参考

付属品をお確かめください。

電源アダプター 1
（コード長：約 1.8m）

カーバッテリーアダプター 1
（コード長：約 1.7m 12V 車専用）

リモコン 1
CR2025 リチウム電池が、リモコンに入っています

テレビチューナー 1

バッテリーパック 1

ヘッドホン 1
（インナーイヤー型）
AV コード（約 1.5 m）.................. 1
保証書 1
本書(取扱説明書) 1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

「安全上のご注意」 のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

はじめに

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の電源スイッチで電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど（故障状態）**
- **倒したり落としたりして、キャビネットを破損した**

警告

電源について

■ 電源アダプター接続時の注意

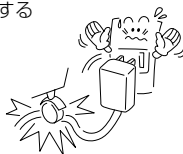
次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源アダプターはコンセントへ確実に接続する
- 電源アダプターのコードは束ねたまま使用しない
- たこ足配線はしない

■ 電源アダプターのコードを傷つけない

無理な使いかたをすると電源アダプターのコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- 電源アダプターのコードの上に重いものを乗せる
- 途中でつぎ足したりして加工する
- 無理に折り曲げる
- 傷をつける
- ねじったり、引っ張ったりする
- 熱器具に近づける

禁　止

電源アダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

設置時から1年に1度は電源コンセントと電源アダプターの間にホコリが付着していないか、電源アダプターのコードに傷みがないか、電源アダプターが抜けかけていないかなどを点検してください。

指　示

■ 雷が鳴り出したら

電源アダプターやアンテナ線には絶対に触れないでください。感電の原因となります。

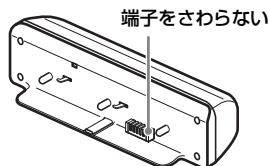
接触禁止

■ バッテリーパックは正しく使う

次のようなことはしないでください。事故や故障、破裂、発火、けがの原因となります。

- バッテリーパックの端子を針金やヘアピンなどで接続しない
- 専用バッテリーパック以外は使用しない
- 指定された充電方法以外では充電しない
- バッテリーパックを加熱、分解、ショートさせたり、火の中に投入したりしない
- バッテリーパックを誤った方法で取り付けない

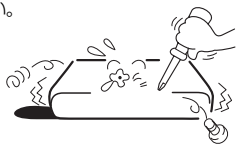
正しくしっかりと取り付けてください。

禁　止

⚠ 警告

使用方法・設置

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■ 本機の上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止

■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 航空機内で使用しない

禁　止

本機が出す電磁波により航空機内の計器に影響を与えるおそれがあります。航空機会社の指示にしたがってください。

■ 異物を入れない

ディスクテーブルなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。

禁　止

■ 布をかぶせない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く

禁　止

■ 運転中はご使用にならないでください

事故の原因になります。運転者は道路交通法を守って安全運転してください。

禁　止

- 運転者は走行中に操作しない
- 運転中に画面を見ながら運転しない

指　示

- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く

■ 本体底部の熱に注意

指　示

ひざの上など、人体の表面に本体の底部を密着させないようにご使用ください。底部は多少熱くなりますので服の上からでも密着されていますと低温やけどの恐れがあります。

■ SDカードを乳幼児の手の届くところに置かない

禁　止

誤って飲み込むと、窒息したり、身体に悪影響を及ぼしたりする恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

■ 電源アダプターを抜くときの注意

ぬれ手禁止

電源アダプターをコンセントから抜く

- ぬれた手で電源アダプターをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプターを抜くときは、アダプター、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

禁　止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ 本機を不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 本機の上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機の上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源アダプターをコンセントから抜く

ディスクおよびSDカードを取り出して電源を切り、外部接続をすべてはずしてからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁　止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCD/DVD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

禁　止

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ カーバッテリーアダプターを本機以外に使用しない

禁　止

発煙、火災、感電の原因となります。

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁　止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけないでください。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁　止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間(1ヶ月以上)使用しない場合やお手入れの際の注意

電源アダプターをコンセントから抜く

安全のため電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

1年に1度は内部の掃除について、お買い上げの販売店にご依頼ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 電池（リモコン用）使用上の注意

電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- CR2025リチウム電池以外は使用しない
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる

禁　止

- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない
- ショートさせない

- 長期間(1ヶ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

地上デジタル放送への対応について

- 地上デジタル放送の開始にともない、現在の地上アナログ放送のチャンネルが変更される場合があります。その際には、受信チャンネルの設定を変更する必要があります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

- 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログ放送は2011年7月までに、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

使用上のお願い

- 再生中に近くのAV機器の画像や音声に悪影響が出ることがあります。その場合は、AV機器から離して設置してください。
- 本機の近くでヘアスプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色など塗装の劣化につながります。
- 長い時間ご使用になると底部が熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 長期間ご使用にならないときは、ディスクおよびSDカードを取り出し、電源を切ってください。

結露（露つき）のご注意

冷たい水をコップに注ぐと表面に水滴がつくように、本機内部に水滴がつくことを、結露（露つき）といいます。結露が起きた状態でのご使用は、ディスクや本機の破損の原因になることがあります。
以下のような場合にご注意ください:
— 本機を寒いところから暖かい部屋へ移動したとき
— 部屋を急に暖めたり冷やしたりしたとき
— 本機に直接、冷風をあてたとき
— 湿気の多い場所で使用したとき
結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。ディスクおよびSDカードを取り出し、約2～3時間放置したあと、ご使用を開始してください。

液晶画面について

カラー液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯する画素や点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、少量に抑えるよう管理していますが、現在の最先端技術でもなくすことは困難ですのでご了承ください。

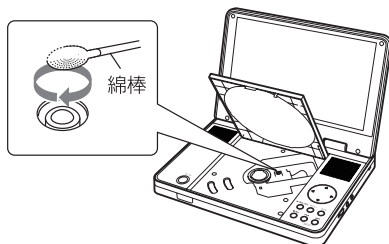
本機のお手入れについて

■ 警告

安全のために、お手入れの前には必ず以下をおこなってください。

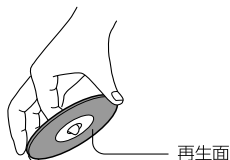
- 電源アダプターやカーバッテリーアダプターを本機からはずしてください。
- 電源スイッチを「切」にしてください。

■ 美しい画像をお楽しみいただくために

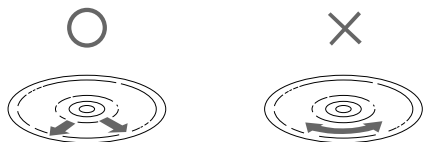
- 1000時間をめどに点検をおすすめします。本機は高精度な技術で構成された精密機器です。温度や湿度、ほこりなどにより、ピックアップレンズやディスク駆動部が汚れ、磨耗し、画質が損なわれます。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ピックアップレンズの汚れは、音とびや画像の乱れの原因になります。以下のようにクリーニングしてください:
  — きれいな空気を吹きつけて取り除く
  — 指定のクリーニングキット**(DVDクリーニングキット、サービス対応品。注文品番614 330 6900)**を用い、綿棒などで軽くふき取る
  指定以外のクリーニングキットはご使用にならないでください。レンズを破損することがあります。

■ キャビネットやディスプレイの汚れ

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーなどは使用しないでください。変色など塗装の劣化の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

ディスクの取り扱い

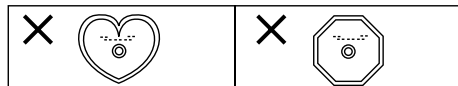
再生面には手を触れないでください。ディスクに汚れや傷がついていると、画質や音質が低下したり、再生できなくなったりすることがあります。

ディスクは必ずケースに入れて保管してください。また、直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、ほこりの多い場所には保管しないでください。

■ ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタル店のラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  — 本機に強い衝撃を与えたとき
  — 薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき
  — ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

（特殊形状ディスクの例）

お使いになる前に

再生できるディスク

本機では下記のディスクが再生できます。

	マーク（ロゴ）	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVDビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm	20分
CD-R/CD-RW	COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable	MP3 JPEG	12cm 8cm	書き込み内容に準じます
DVD-R	DVD R	ビデオモード	12cm 8cm	書き込み内容に準じます
DVD-RW	DVD RW	ビデオモード VRモード CPRM	12cm 8cm	書き込み内容に準じます

ご注意

- 2層（ダブルレイヤー）のDVD-R/RWやDVD+R/RWとDVD-RAMディスク、Dual Disc、ビデオCDは再生できません。
- パソコンで記録したDVD-R/RWやCD-R/RWは本機で再生できない場合があります。
- 再生時間期限付きディスクを視聴される場合、ディスクによっては正常に再生できない場合があります。
- DVDレコーダーで記録されたDVD-R/RWは記録状態によっては再生できない場合があります。
  ご使用のDVDレコーダーの取扱説明書をお読みください。

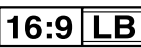
ちょっとこれを！

- ビデオフォーマットで記録されたDVD-R/RWディスクは、ファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。
- DVD-RWの VRフォーマット対応DVDディスクを再生できます。（ファイナライズ処理が必要な場合があります。）
- BS、地上波デジタル放送などの「一回だけ録画可能（コピーワンス）」番組を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-RWにDVD VRフォーマットで記録されたものに限り可能です。（ファイナライズ処理が必要な場合があります。）
- CD-R/RWは音楽用CDフォーマット、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- **コピーガード付きCD再生について**
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できる SD カード

本機では以下のSDカードが再生できます。

	マーク（ロゴ）	容量
SDカード	SD	16MB～2GB

- MMC(マルチメディアカード)は動作保証いたしておりません。
- miniSDカード、microSDカードを本機で利用するときは、変換アダプタが必要です。
- miniSD™カードはSDアソシエーションの登録商標です。
- SDHC（4GB）以上の カードは利用できません。
- SDロゴは商標です。

ちょっとこれを！

- SDカードでは、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないSDカードがあります。

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像･音声の数や、使える機能を表しています。

マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声（英語/スペイン語/日本語など）が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕（英語/日本語など）が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度（アングル）の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるディスクがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDディスクには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョンコードを表します。（右記の「DVD再生時の機能や操作について」を参照ください。）

DVD再生時の機能や操作について

DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。
DVDディスクの機能や操作について、くわしくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

本機のリージョンコード(地域コード)は「2」です。
リージョンコードが「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。

例：DVD

例：音楽用CD

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

お使いになる前に

MP3について

MP3とは、MPEGオーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

● 使用条件は、場合によって異なりますので、くわしい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) におたずねください。

JASRAC 本部 TEL : 03-3481-2121
FAX : 03-3481-2150
URL http://www.jasrac.or.jp/

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用およびその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

この取扱説明書の内容について

● 本書は製品開発にさきがけて印刷しています。性能や操作性向上のため、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

● 本書は、本機の基本的な操作のしかたを、リモコンの操作主体で説明しています。本機の同じ、または似た名前のボタンでも同じように操作できることがあります。

● DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、本書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。

操作中に「 ⊘ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表しています。

DVD CD DATA について

本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

DVD : DVDでお楽しみいただけます。

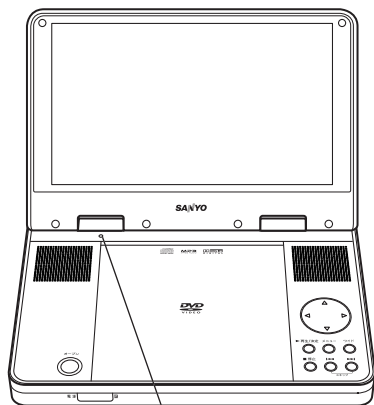
CD : 音楽用CDでお楽しみいただけます。

DATA : MP3またはJPEG形式のデータが記録されているCDおよびSDカードでお楽しみいただけます。

音量にご注意ください

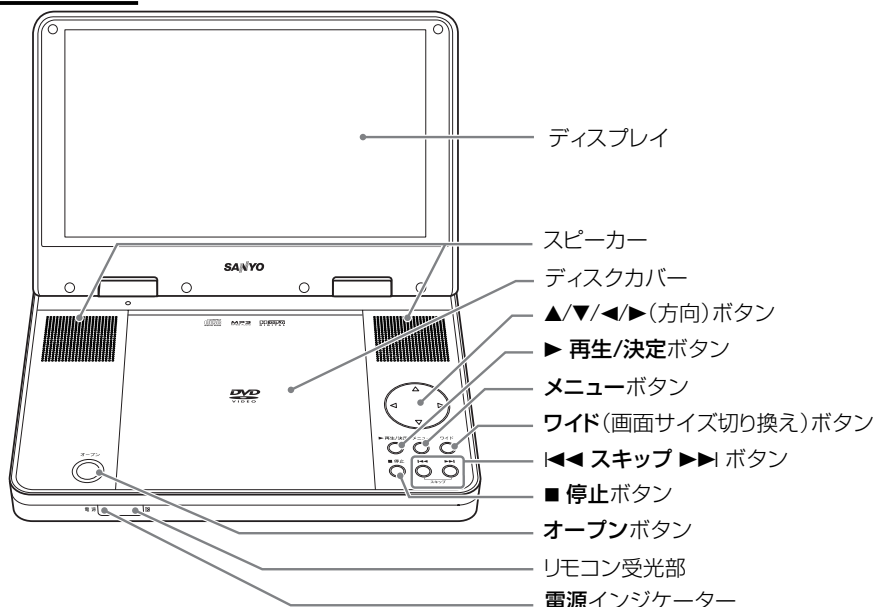
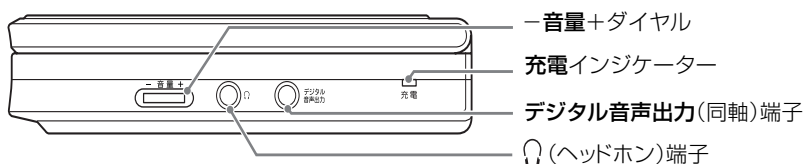
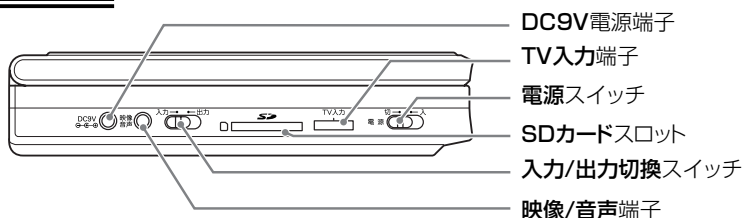
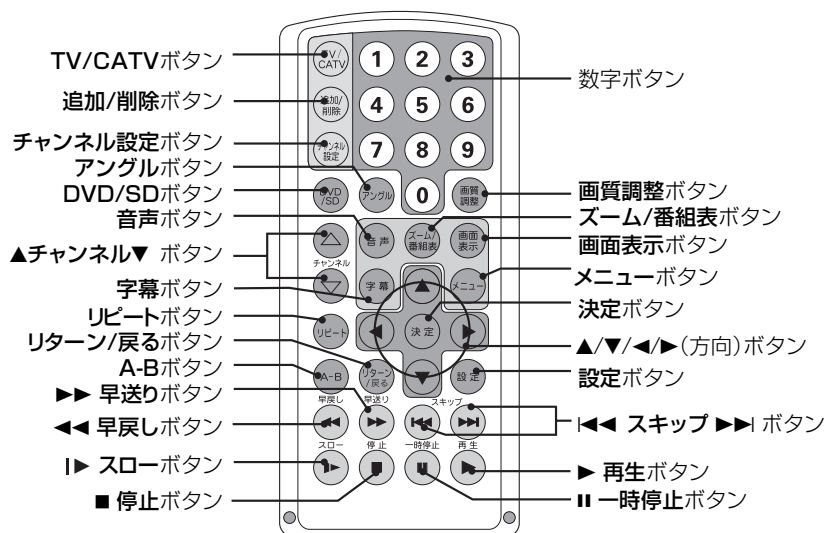
DVDや音楽用CDおよびSDカードを再生する前に、音量を下げてください。ディスクおよびSDカードにより記録されている音量レベルは異なります。音量を上げて再生したあと、そのまま他のディスクおよびSDカードを再生すると大きな音が出ることがありますのでご注意ください。
DVDの場合、5.1ch、2chなどの出力モードにより音量レベルが変わることがあります。通常より音量が小さいことがありますが、本機の故障ではありません。

ちょっとこれを！

● 画面表示中、スイッチを押すと画面が暗くなります。ディスプレイを閉じることでスイッチが押され、モニターの電源を切られるため、画面が消えるようになっています。

各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

リモコンと同じなまえの本機のボタンは、操作のしかたも同じです。

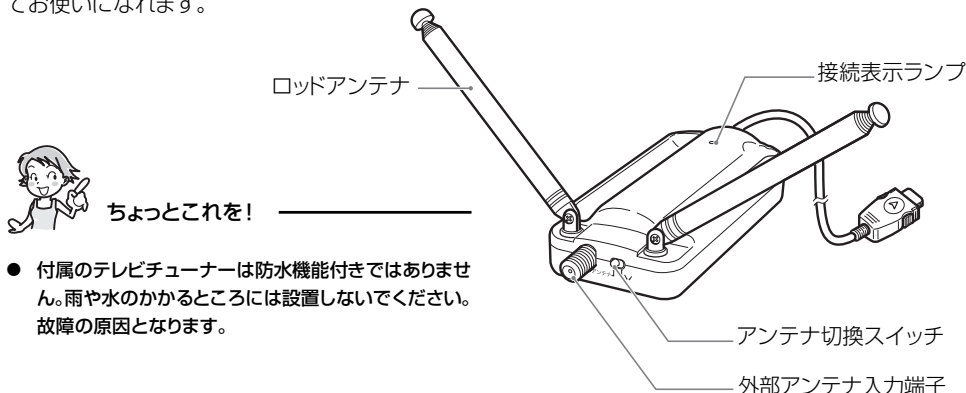
● 表示例として使用している表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

ご使用前のお願い

本機の**オープン**ボタンを押してディスクカバーを開け、中の保護シートを取り出してください。

テレビチューナー(地上アナログ放送用)

接続のしかたは「テレビチューナーを接続する」 P39 をご覧ください。
別売りのワンセグチューナー DVF-DTV100をお使いになると、地上デジタル放送も楽しめる機器としてお使いになれます。

ちょっとこれを！

- **付属のテレビチューナーは防水機能付きではありません。雨や水のかかるところには設置しないでください。故障の原因となります。**

◐ 外部の機器と接続する

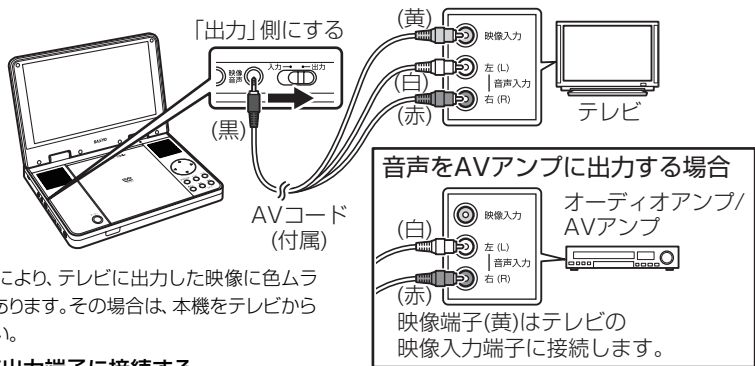
以下のように本機と他の機器を接続して再生することができます。くわしくは、接続する機器の取扱説明書と併せてご覧ください。

■ 付属のヘッドホン(インナーイヤー型)を接続するには

本機の 🎧(ヘッドホン) 端子に接続します。ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が出ません。

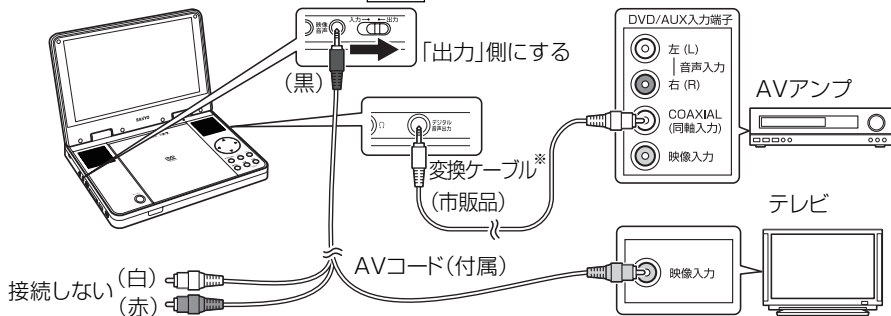
- 大きな音量で長時間お聞きになると、聴力に悪影響が出ることがありますのでご注意ください。
- ヘッドホンは 🎧(ヘッドホン) 端子以外には接続しないでください。

テレビや AV アンプに接続する

本機で再生した映像や音声を、テレビや AV アンプに出力して楽しむことができます。
付属のAVコードを使って本機の映像/音声端子をテレビの映像入力端子と音声入力端子 (またはAVアンプの音声入力端子) に接続し、本機の入力/出力切換スイッチを「出力」側に合わせてください。

ご注意

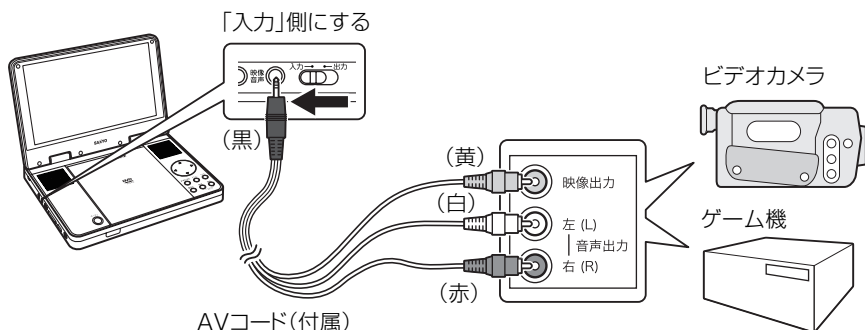
- 設置のしかたにより、テレビに出力した映像に色ムラが出ることがあります。その場合は、本機をテレビから離してください。

■デジタル音声出力端子に接続する

ドルビーデジタルデコーダー内蔵のAVアンプなどに接続することができます。接続する機器に合わせて、総合設定ページの「デジタル出力」を設定してください P41。

※ 変換ケーブルをお買い求めの際は、ケーブル先端の形状がミニプラグとピンプラグのものをお求めください。
Φ3.5ミニプラグ(モノラル):本機接続側　　ピンプラグ:AV機器側
ただし、AV機器側はピンプラグで接続できない場合がありますので、必ずお客様がお持ちのAV機器の形状をお確かめいただき、販売店とご相談の上、お買い求めください。

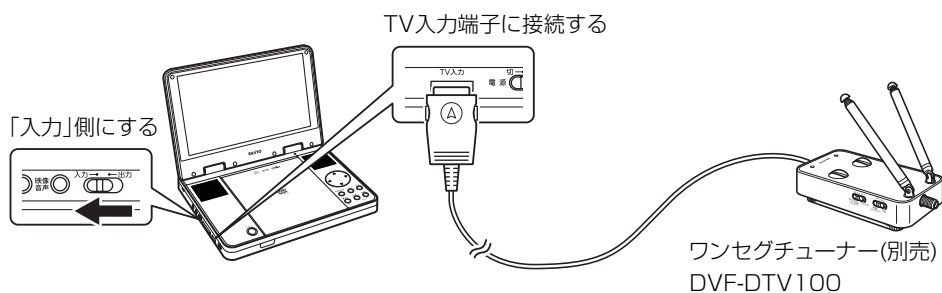
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、Dolby及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ゲーム機やビデオカメラとの接続

ゲーム機やビデオ一体型カメラなどと接続する場合は、テレビチューナーの接続を外してください。
本機をモニターとして使用することができます。
本機の入力 / 出力切換スイッチを「入力」側に合わせてください。

ご注意

- 映像信号が PAL 方式の場合、本機画面には正常な映像は表示されません。

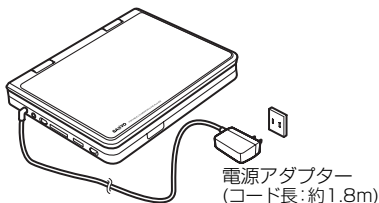
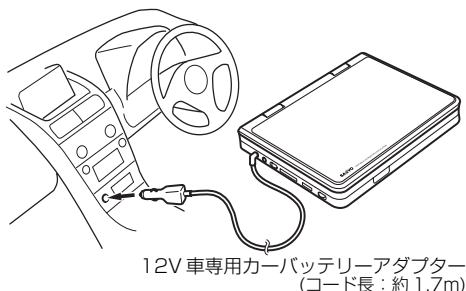
別売ワンセグチューナー DVF-DTV100 に接続する

別売のワンセグチューナーを接続すると、屋外でも屋内でも本機をテレビとして使うことができます。
くわしくは、接続するワンセグチューナーの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 別売のワンセグチューナーでは、地上デジタル放送を視聴できます。また、ステレオ音声はもちろん副音声の放送も聞くことができます。
- テレビの受信状態が悪い場合は、受信状態はグレーになって映像はでませんが、故障ではありません。
- ダイバーシティアンテナは接続できません。

電源と準備

電源コードの接続

室内の電源に接続するには

車内の電源に接続するには

● 電源アダプター、カーバッテリーアダプターを抜き差しするときは、本機の電源スイッチを「切」にしてからおこなってください。ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

カーバッテリーアダプターについて

■ 安全運転のために

● 運転者は、運転中に使用しないでください。運転に支障をきたし、違法です。

● 運転に支障をきたす可能性のあるときはご使用をおやめください。ご使用になる場合には、十分にご注意ください。

■ 警告

● 日が当たる場所や暖房器具の近く、窓を閉めた車両などに放置されると、本機のキャビネットが曲がったり、故障したりすることがあります。

● 車のダッシュボード上などに設置して使用しないでください。走行中に使用してディスクに傷がついても補償はできません。

ご注意

● 付属のカーバッテリーアダプターは、12ボルト車専用です。

● 付属のカーバッテリーアダプター以外のアダプターを使用しないでください。故障の原因になります。

● ご使用の前に、必ずシガーライターソケットをきれいにしてください。ソケットの中が灰やほこりで汚れていると、接触不良により接続部が熱くなることがあります。

● ご使用のあとは、カーバッテリーアダプターのプラグを、本機とシガーライターソケットの両方から抜いてください。

● カーバッテリーアダプターは、カーラジオや車内のラジオの受信を妨害することがあります。その場合は、アダプターをはずすか、アダプターをラジオから離してください。

● 車種によっては、カーバッテリーアダプターが取り付けられない場合があります。

■ ヒューズの交換について

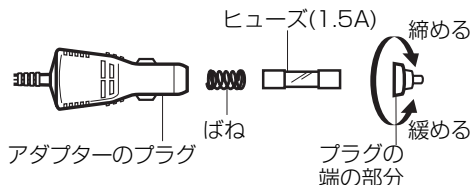
カーバッテリーアダプターを使っても本機が動作しないときは、ヒューズが切れていないか確認してください。ヒューズが切れている場合は、以下の手順で交換してください。

1 **シガーライターソケットからアダプターのプラグをはずす**

2 **プラグの端の部分を回してはずす**

3 **切れたヒューズを取りはずす**

4 **新しい1.5Aのヒューズを取り付ける**
(弊社サービス店: 品番 645 068 5316)

5 **プラグの端の部分を回して締める**

ご注意

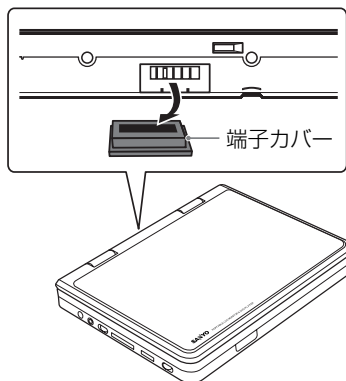
● 交換するヒューズは同一タイプの同一定格値のものと交換してください。

● ヒューズを取りはずしたときに、ばねが飛び出すことがあります。

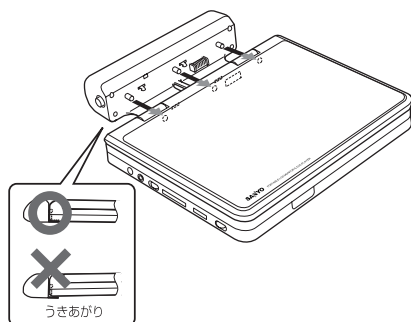
バッテリーパックを使う

■ バッテリーパックを取り付けるには

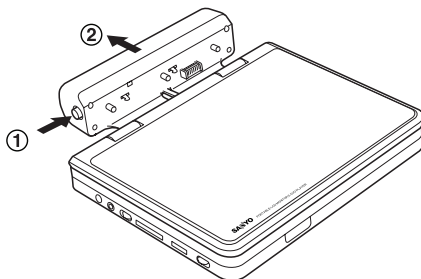
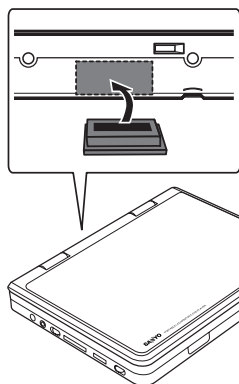
1 本機の電源スイッチを「切」にして、電源アダプターまたはカーバッテリーアダプターのプラグを抜く

2 本機の端子カバーを取りはずす

3 バッテリーパックを矢印の方向に、カチッと音がするまで差し込む

ご注意

- 持ち運ぶときは必ず本体をお持ちください。
- バッテリーパックを使用中に充電切れになったときは、必ず本機の電源スイッチを「切」にしてください。電源スイッチを「入」にしたまま放置しますと、バッテリーが過放電状態になり、バッテリーパックの寿命が短くなる場合があります。

■ バッテリーパックをはずすには

1 本機の電源スイッチを「切」にする

2 取りはずしボタン（①）を押しながら、②の方向に引き抜く（引くときには、少し力を入れてください。）

3 本機に端子カバーを取り付ける

ちょっとこれを！

- 本機から取りはずした端子カバーは、なくさないように保管してください。
- 使用後はバッテリーパックをはずしてください。
- バッテリーパックを注文される場合
  品名：ポータブルDVDプレーヤー用
  バッテリーパック
  品番：DVF-BT2
  でご注文ください。

準備

バッテリーパックを充電する

本機の電源スイッチを「切」にして、電源アダプターまたはカーバッテリーアダプターを電源に接続する
P18

充電インジケーターが点灯し、充電が始まります。

充電インジケーター

充電インジケーター	状態
点灯	充電中
消灯	フル充電完了

充電時間	約７時間	バッテリーパックが空の場合
連続再生時間	約３時間30分	DVD連続再生でバックライトが最小、ヘッドホン使用時

● 使用状態や温度などの条件によって、電池持続時間は異なります。

ちょっとこれを！

● 電源スイッチが「入」の状態では充電されません。
● フル充電に近い状態にあるときは、充電インジケーターが点灯しない場合があります。
● バッテリーパックをフル充電して長期間(1ヶ月程度)放置すると、自己放電により使用可能時間が短くなります。お使いになる前にフル充電してから使われることをおすすめします。
● 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーパックが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
● 室内電源や車内電源を接続するとバッテリーパックからの電源が自動的に切れます。
● 正しく装着されないと充電できない場合があります。充電開始時は、必ず充電インジケータが点灯していることを確認してください。

ご注意

● バッテリーパックは、空になるまで使い切ってから充電されることをおすすめします。使い切らないまま継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリーの特性によって、電池持続時間が短くなる現象（メモリー効果）が起こります。

電源を入 / 切する

1 本機の電源スイッチを「入」にする

本機の電源が入り、ディスプレイにSANYOのロゴが表示されます。

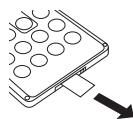
- 本機前面の電源インジケーターが点灯します。
- リモコンでは電源は入れられません。本機でおこなってください。
- ディスプレイに「ロード中」と表示され、ディスクおよびSDカードの読み込みをはじめます。ディスクおよびSDカードが入っていないときは、その後「ディスクを入れて下さい」と表示されます。

2 本機の電源スイッチを「切」にすると電源が切れる

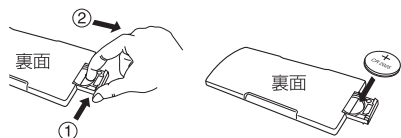
- 前面の電源インジケーターが消灯します。
- 液晶の特性により、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる場合がありますが、故障ではありません。(数分間放置すると消えます。)

リモコンの電池について

初めてリモコンを使う場合

CR2025リチウム電池(付属)が、あらかじめリモコンの中に入っています。図のようにプラスチックシートを引き抜くと、使用できます。

- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを本機の近くで操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いことがありますが、ご了承ください。

電池を取り替える場合

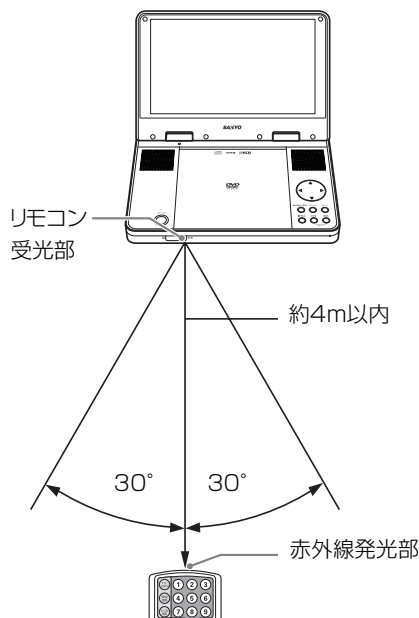
①を押さえながら、②の方向に引きます。
(取り出すには、少し力を入れてください。)

電池はCR2025リチウム電池を使用してください。

- 不要となった電池を廃棄する場合は各自治体の指示(条例)にしたがってください。

ご注意

- リモコンを長期間(1ヶ月程度)使用しない場合は、電池を取りはずしてください。リモコン内の電池が液もれを起こす場合があります。

リモコンの使える範囲

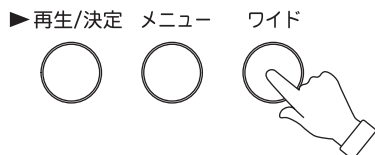
水平方向で左右30度ずつ、直線距離で約4mまでの範囲です。

- 本機のリモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
- リモコンの電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、新しい電池に交換してください。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くなどで強い光が当たると、正常に動作しないことがあります。

準備

ディスプレイ表示サイズを切り換える

ディスプレイに表示される画面のサイズを切り換えることができます。

本機のワイドボタンを押す

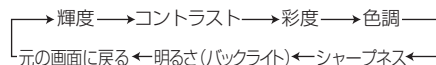
押すたびに画面の横幅サイズが切り換わります。

- JPEGファイルの再生時は、画面サイズは切り換わりません。
- 映像/音声端子で出力した機器の画面サイズは、このボタンでは変わりません。

画質を調整する

ディスプレイの画質を調整できます。

1 画質調整ボタンを押す

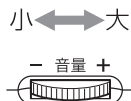
画質調整ボタンを押すごとに設定項目が切り換わります。

→輝度→コントラスト→彩度→色調→シャープネス→明るさ（バックライト）→元の画面に戻る→

- 各設定の基準値は「13」です。
- シャープネスを上げすぎると、テレビ受信時や外部入力時に輪郭が強調され、輪郭に白い線が入る場合があります。そのときは、シャープネスの設定値を下げてください。

2 ◀/▶（方向）ボタンを押して、画質を調整します

音量を調節する

本機の−音量＋ダイヤルで調節する

− 音量 ＋

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

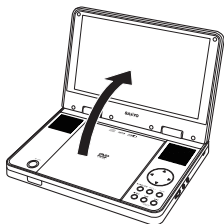
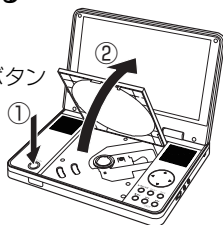
ディスクを再生する

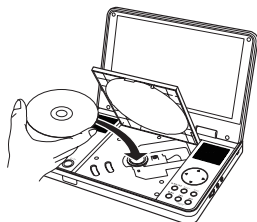
本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

本書では本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
<各種設定はディスク情報が優先されます>

初めてご使用になるときは、ディスクカバー内にある保護シートを取り出してください。

準備　本機の入力/出力切換スイッチを「出力」側にしておきます。

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

2 オープンボタンを押してディスクカバーを開ける

3 ディスクをディスクテーブルに置く

再生面を下にして、カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。

(例)12cm ディスクの場合

4 ディスクカバーを閉める

ディスクカバーの「クローズ」部を押して、カチッと音がするまで閉めます。ディスプレイに「ロード中」と表示され、自動的に再生が始まります(オートプレイ機能)。

- ディスクの再生面を逆にしてディスクテーブルに置いたり、傷ついたディスクを再生しようとすると、ディスプレイに「ディスクを入れて下さい」と表示されます。この場合は、ディスクを正しく置きなおすか、新しいディスクに交換してください。

SDカードがセットされている場合には
DVDモードにするには、ディスクをセットしたあと、DVD/SDボタンを押してください。

停止しているディスクを再生するときは

► 再生ボタンを押す

再生が始まります。

データCD(MP3 P34、JPEG P36)の再生のしかたについては各説明ページも併せてご覧ください。

ディスクのメニューが表示されたとき
DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◄/► (方向)ボタンと決定ボタン(本機では► 再生/決定ボタン)で項目を選びます。くわしくは、P26 をご覧ください。

DVD VRフォーマットのディスクを入れたとき
DVD VRメニュー画面を表示させて、プレイリストタイトルを再生したり、オリジナル、またはプレイリストタイトルを選んで再生したりすることができます。くわしくは、P24 をご覧ください。

ちょっとこれを!

- DTS音声は再生できません。DVDディスクのメニューでDTS音声の選択をしないでください。

ディスク(DVD-VR モード)を再生する

DVD

VR モードを再生する

DVD

DVDレコーダーなどでDVD-RW(DVD VRフォーマット)に登録したプレイリストタイトルを再生します。

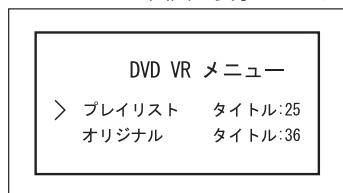
準備　本機の電源を入れたあと、プレイリストが登録されているディスク(DVD VRフォーマット)を入れて、再生できるようにしておきます。P23

1 **■ 停止ボタンを2度押して、ディスクを完全に停止させる**

2 **メニューボタンを押す**

DVD VRメニュー画面が表示されます。

```
DVD VR メニュー

> プレイリスト      タイトル:25
  オリジナル        タイトル:36
```

プレイリスト............録画された映像をお好みの順番に編集されたもの

オリジナル..............録画されたままの映像で、編集されていないもの

3 **▲/▼ (方向)ボタンを押して、「プレイリスト」を選ぶ**

4 **決定ボタンを押す**

5 **► 再生ボタンを押す**

プレイリストタイトルの再生が始まります。

ちょっとこれを!

- プレイリストが記録されていないディスクは「プレイリスト　タイトル:00」と表示されます。
- ディスクの記録状態によっては、プレイリストタイトルが再生できない場合があります。

タイトルサーチ

DVD

DVD VRフォーマットで記録されたオリジナルタイトルやプレイリストタイトルの再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 **左記操作3で▲/▼ (方向)ボタンを押して、「プレイリスト」または「オリジナル」を選び、決定ボタンを押す**

タイトル01の再生が始まります。

2 **再生中に数字ボタンを押す**

タイトルサーチとチャプターサーチ画面が表示されます。

3 **◄/► (方向)ボタンを押し、カーソルをタイトル番号の位置に移動する**

4 **再生中に数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力し、決定ボタンを押す**

例: タイトル番号3を選ぶには　0 → 3
　　タイトル番号12を選ぶには　1 → 2

```
タイトル 03/12  チャプター 06/13
```

入力中のタイトル番号

選んだタイトルから再生が始まります。

- カーソルがチャプター番号の位置に移動します。表示が消える前に数字ボタンでチャプター番号を入力し、決定ボタンを押すと、再生中のタイトルの選んだチャプターから再生が始まります。

ご注意

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。動作中のディスクカバーに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクカバーを上から強く押したり、ディスクテーブルにディスク以外のものを乗せないでください。故障の原因となります。
- DVD-VRディスクは読み込みに時間がかかる場合があります。
- ディスクによってはオートプレイをしないディスクがあります。
- 画面表示中、右図のスイッチを押すと、画面が消えます。

ディスクを再生する

DVD CD DATA

再生を途中で止める

■ 停止ボタンを押す

停止した位置から再生するとき（レジューム機能）

再生中に ■ 停止ボタンを1回押すと、「再生を押して継続」とディスプレイに表示されます。

▶ 再生ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき（レジューム機能の解除）

上記の状態からもう一度 ■ 停止ボタンを押します。次に再生するときはディスクの最初から始まります。

- ■ 停止ボタンを押してからディスクの回転が止まるまで数秒かかります。すぐにディスクカバーを開けないでください。故障やけがの原因となります。

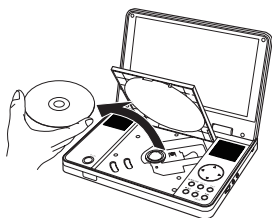
ちょっとこれを！

- 「再生を押して継続」と表示されないときは、レジューム再生できません。
- ディスクによってはレジューム再生できない場合があります。
- レジューム再生は、停止した位置によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本機の電源を切ったときは、レジューム再生できません。

ディスクを取り出す

オープンボタンを押してディスクカバーを開ける

- ■ 停止ボタンを押してからディスクの回転が止まるまで数秒かかります。ディスクの回転が停止するのを待ってからディスクカバーを開けてください。

ディスクカバーが完全に開いてから、ディスクを取り出します。

(例)12cm ディスクの場合

ディスクカバーの「クローズ」部を押して、カチッというまで閉めます。
ディスクカバーを閉めてからディスプレイを閉じてください。

再生したい項目にスキップする

次のチャプター / トラックへ進む

再生中に、▶▶| スキップボタンを押す

ディスプレイに「 ▶▶| 」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

前のチャプター / トラックへ戻る

再生中に、|◀◀ スキップボタンを押す

ディスプレイに「 |◀◀ 」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生します。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

ちょっとこれを！

- ディスクによってはスキップが禁止されている場合があります。
- チャプターとトラックについては P11 を参照してください。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

メニューを使う

DVD

<各種設定はディスク情報が優先されます>

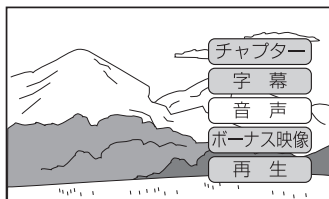
DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

準備　**本機の電源を入れたあと、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。** P23

DVDメニューで選ぶ

1 再生中にメニューボタンを押す

画面に「ルートメニュー」と表示され、DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。

（表示例）

2 ▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、数字ボタンで選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。操作2～3を繰り返して希望のメニューを選びます。

ディスクによってはDVDメニューが複数階層用意されているものがあります。そのようなディスクの場合は、さらにメニューボタンを押すと「タイトルメニュー」が表示され、上の層のDVDメニューを表示することができます。

リターン／戻るボタンを使う

DVDメニュー表示中にリターン/戻るボタンを押すと、本編の再生にもどります。

再生中にリターン/戻るボタンを押すと、DVDメニューの表示にもどります。

ちょっとこれを！

- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、**システム設定**の「その他設定ページ」で言語を選ぶことができます。P45
- DVDメニューが記録されていないディスクもあります。
- DVDメニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また「決定ボタンを押す」といった案内の表示を「選択ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」を選ぶことが禁止されている場合があります。
- ディスクによっては「ルートメニュー」と「タイトルメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによっては読み込み後、DVDメニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

見たい、聞きたいところを探す DVD CD

準備　本機の電源を入れたあと、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P23

チャプターサーチ DVD

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

再生中に数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力し、決定ボタンを押す

例：チャプター番号6を選ぶには
0 → 6
チャプター番号10を選ぶには
1 → 0

タイトル　01/12　チャプター **06**/13

入力中のチャプター番号

選んだチャプターから再生が始まります。

タイトルサーチ DVD

再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 再生中に数字ボタンを押す

タイトルサーチとチャプターサーチ画面が表示されます。

2 ◀/▶（方向）ボタンを押し、カーソルをタイトル番号の位置に移動する

3 再生中に数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力し、決定ボタンを押す

例：タイトル番号3を選ぶには
0 → 3
タイトル番号12を選ぶには
1 → 2

タイトル　**03**/12　チャプター　06/13

入力中のタイトル番号

選んだタイトルから再生が始まります。

- カーソルがチャプター番号の位置に移動します。表示が消える前に数字ボタンでチャプター番号を入力し、決定ボタンを押すと、再生中のタイトルの選んだチャプターから再生が始まります。

トラックサーチ CD

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

数字ボタンで、希望のトラック番号を入力し、決定ボタンを押す

例：トラック番号6を選ぶには
0 → 6
トラック番号10を選ぶには
1 → 0

トラック選択:**06**/13

入力中のトラック番号

選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを！

- 設定途中で訂正するときは、▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して設定をキャンセルしてから、もう一度数字ボタンを押します。
- 誤った番号が入力されていると、ディスプレイに「⊘」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- タイトルとチャプター、トラックについては P11 を参照してください。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

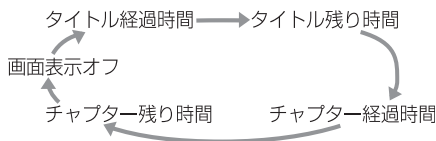
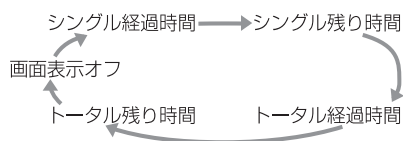
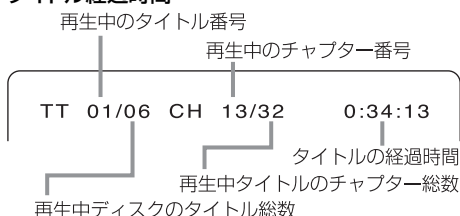
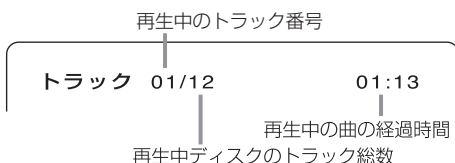
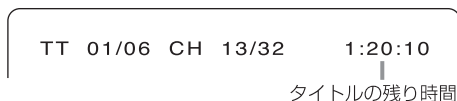
ディスクの情報を見る

DVD CD

画面に、経過時間や残り時間などのディスク情報を表示できます。

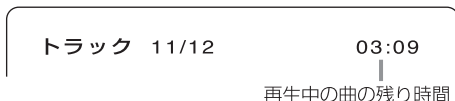
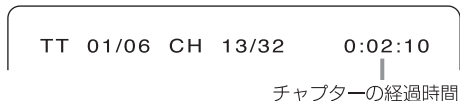
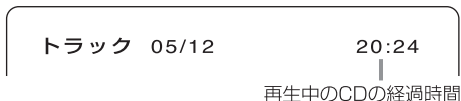
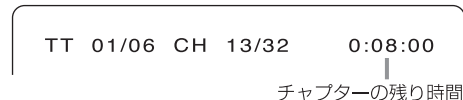
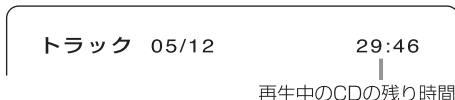
再生中に、画面表示ボタンを押す

押すたびに、次のように切り換わります。

[DVDのとき]

[CDのとき]

タイトル経過時間

タイトル残り時間

チャプター経過時間

チャプター残り時間

シングル経過時間

シングル残り時間

トータル経過時間

トータル残り時間

ちょっとこれを！

- スロー再生中やスロー戻し再生中、静止（一時停止）中にも、ディスク情報を表示できます。

速さを変えて再生する DVD CD DATA

<各種設定はディスク情報が優先されます>

静止（一時停止）する

再生中に、II 一時停止ボタンを押す

ディスプレイに「II」が表示されます。

DVD：静止
CD：一時停止
DATA：一時停止

ステップ再生をするとき

DVDでは、リモコンの II 一時停止ボタンを押すことで、押すたびに1コマ進むステップ再生ができます。

通常の再生に戻すとき

▶ 再生ボタンを押します。

早送り、早戻しする

再生中に、▶▶ 早送りまたは ◀◀ 早戻しボタンを押す

押すたびに、速さが切り換わります。
ディスプレイには以下のように表示されます。

早送り：▶▶ 早送りボタン

▶▶ 2X→ ▶▶ 4X→ ▶▶ 8X→ ▶▶ 16X→
▶▶ 32X → ▶ (通常再生) → ▶▶ 2X ・・・

早戻し：◀◀ 早戻しボタン

◀◀ 2X→ ◀◀ 4X→ ◀◀ 8X→ ◀◀ 16X→
◀◀ 32X → ▶ (通常再生) → ◀◀ 2X ・・・

通常の再生に戻すとき

▶ 再生ボタンを押します。

スローモーションで見る DVD

再生中に、I▶スローボタンを押す

押すたびに、速さが切り換わります。
ディスプレイに以下のように表示されます。

通常の再生に戻すとき

「▶」がディスプレイに表示されるまで、I▶スローボタンを繰り返し押すか、▶ 再生ボタンを押します。

ちょっとこれを！

- 静止（一時停止）やスロー再生・スロー戻し再生中は、音声が出ません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止（一時停止）や早送り・早戻し・スロー再生・スロー戻し再生を禁止しているものもあります。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

繰り返し再生する

DVD CD

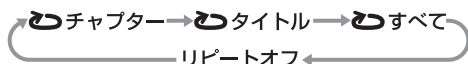
繰り返し再生する

ディスク全体、またはタイトル・チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

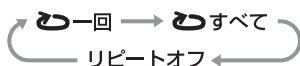
リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例：DVD

チャプター → タイトル → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
チャプター	再生中のチャプターを繰り返す
タイトル	再生中のタイトルを繰り返す
すべて	ディスクの内容すべてを繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

例：CD

一回 → すべて → リピートオフ

ディスプレイ画面	動作
一回	再生中のトラックを繰り返す
すべて	ディスク全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには

「リピートオフ」が表示されるまで、リピートボタンを繰り返し押します。

再生したい部分だけを繰り返し再生する

1 再生中に繰り返し再生したい部分の始点(A)で、A-Bボタンを押す

A

2 繰り返し再生したい部分の終点(B)で、A-Bボタンを押す

AB

自動的にA点に戻り、指定した部分(A-B間)の繰り返し再生が始まります。(A-Bリピート)

通常の再生に戻すには

A-Bボタンを押します。画面に「リピートオフ」と表示され、A-Bリピートが解除されます。

ちょっとこれを！

- 電源を入/切したり、ディスクカバーの開閉や、■ 停止ボタンを押して停止すると、リピート再生やA-Bリピート再生は解除されます。
- ディスクによってはリピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。また、チャプターリピートまたはタイトルリピートを選ぶことができない場合があります。
- A-Bリピートは1ヶ所のみ設定できます。

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

いろいろな映像の見かた

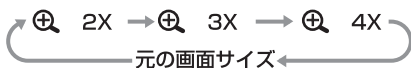
DVD

映像を拡大する(ズーム)

映像を拡大表示することができます。

1 **再生または静止中に、ズーム/番組表ボタンを押す**

押すたびに、次のように拡大率が変わります。

2X → 3X → 4X → 元の画面サイズ

2 **▲/▼/◀/▶ (方向)ボタンを押して、拡大部分を移動させる**

- 画面の端で移動が止まります。

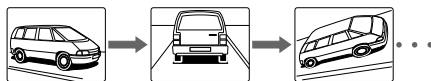
元の画面サイズに戻すには

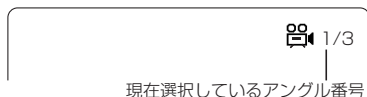
ズーム表示が消えるまで、ズーム/番組表ボタンを繰り返し押します。

ちょっとこれを!

- スローモーション、早送りや早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によっては、ズーム機能が働かないものもあります。
- アナログチューナー使用時は、ズーム/番組表ボタンを押しても映像は拡大しません。
- デジタルチューナー使用時は、ズーム/番組表ボタンを押しても映像は拡大せず、番組表を表示します。

映像のアングルを切り換える

複数のアングルで記録された(マルチアングル)DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

再生中に、アングルボタンを押す

押すたびに、選択しているアングルの番号が切り換わり、アングルが切り換わります。

ちょっとこれを!

- マルチアングルで記録された映像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えを禁止しているものもあります。

再生

操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

言語を変更する

<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVD の音声を切り換える

DVDに複数の音声が記録されているときは、希望の音声を選んで再生することができます。

再生中に音声ボタンを押す

押すたびに、音声が切り換わります。

現在選択している音声の番号

音声言語　3/4 ◻◻D 5.1CH　日本語

現在選択している音声

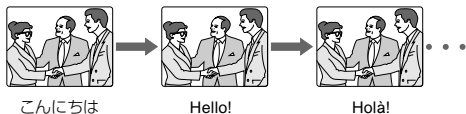
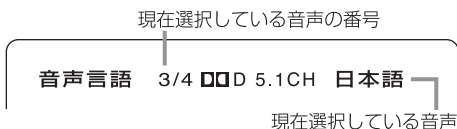
DVD の字幕を切り換える

DVDに複数の字幕が記録されているときは、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示をオン/オフすることもできます。

再生中に字幕ボタンを押す

押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。

字幕表示を切るには

「字幕　オフ」が表示されるまで、字幕ボタンを繰り返し押します。

ちょっとこれを！

- ディスクによっては複数の音声が記録されていても、切り換えを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、DVDメニューから音声を設定できるものもあります。 P26
- 電源を入/切したり、ディスクを交換したりすると設定が解除されます。その場合は上の手順を繰り返して音声を選びなおしてください。
- 選択できる音声はディスクによって異なります。

ちょっとこれを！

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示のオン/オフや切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。 P26
- 記録されている字幕言語の種類や数はディスクによって異なります。
- 電源を入/切したりディスクカバーを開閉したりすると、設定した字幕が取り消され、元の状態に戻ります。

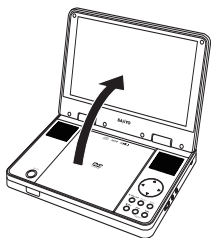
操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

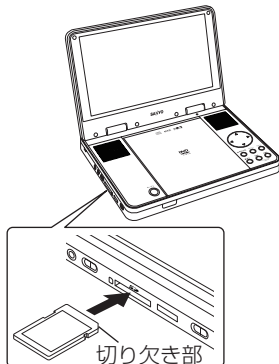
SD カードを再生する

DATA

本機では、MP3形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたSDカードを再生できます。

準備　本機の入力/出力切換スイッチを「出力側」にしておきます。

1 ディスプレイを開け、電源を入れる P21

2 SDカードを挿入する

ラベル面を上にして、カチッと音がするまでしっかりとSDカードスロットに差し込みます。

- ディスクがセットされているときは、DVD/SDボタンを押しSDモードに切り換えてください。
- miniSDカード、microSDカードを使用するときは、変換アダプタを装着し、変換アダプタごと挿入してください。

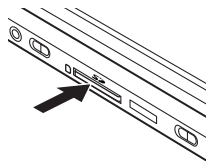
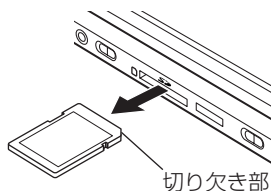
ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル/フォルダー一覧画面)が表示されます。
データ(MP3 P34、JPEG P36)の再生のしかたについては各説明ページをご覧ください。

SD カードを取り出す

SDカードのロード中、再生中または動作終了直後に、SDカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。データが破損することがあります。

取り出すときは停止中か電源が切れたあとでSDカードを取り出してください。

1 SDカードの中央部を押す

カチッと音がすると、ロックが解除されSDカードが押し出されます。

2 SDカードを引き抜く

ご注意

- SDカード再生時はディスクカバーを閉じてください。

再生

MP3ファイルを再生する

DATA

データCD(CD-R/RWなど)およびSDカードに記録されているMP3形式の音楽ファイルを再生することができます。

MP3ファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライト形式、マルチセッション形式には対応していません。
- オーディオCDトラックとMP3ファイルが混在したCDはMP3のみ再生します。(シングルセッション時のみ)
- ファイル構成により、MP3ファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をおすすめします。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"–"(ハイフン)で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。(日本語は表示されません)
- 読み込み可能なファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライティングソフトにより異なることがあります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- MP3 CDおよびSDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- MP3のID3タグには対応していません。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。

<MP3>

- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」または「.MP3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  – 44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps(固定または可変のビットレート)
- MPEGオーディオレイヤー3のみ対応しています。

操作中に「 ⊘ 」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

MP3ファイルを再生する

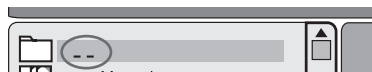
1 ディスクの場合は、「ディスクを再生する」 P23 の1～4の手順でディスクをディスクテーブルに置き、ディスクカバーを閉める SDカードの場合は、「SDカードを再生する」 P33 の1～2の手順でSDカードを挿入する

ディスプレイにファイルブラウザ(ファイル一覧画面)が表示され、最初のフォルダーの音楽ファイル/フォルダー一覧画面が表示されます。

(例:)

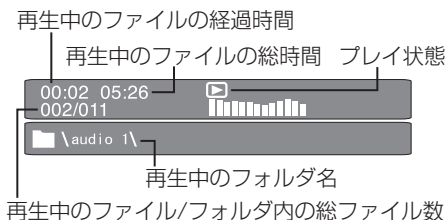
- SDカード選択時は、ステータス欄に「SD」と表示されます。
- ディスクとSDカードの両方を入れているときは、DVD/SDボタンを押すことで切り換えができます。

2 ▲/▼/◀/▶ (方向)ボタンを押して、再生したいファイルのあるフォルダーを選ぶ

- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは対象のサブフォルダーを選択したあと、決定ボタンか ▶ (方向)ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ (方向)ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択したあと、決定ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

3 ▲/▼ (方向)ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

4 決定ボタンを押す

選択したファイルが再生されたあと、以降の曲が順に再生されます。

- ディスプレイのプレイ状態欄に「▶」が表示され、再生中のファイル名またはフォルダー名が表示されます。

一時停止する

再生中に、II 一時停止ボタンを押す
ディスプレイのプレイ状態欄に「II」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常の再生に戻すときは
▶ 再生ボタンを押します。

再生を止める

■ 停止ボタンを押す
ディスプレイのプレイ状態欄に「■」が表示され、再生中のファイルが停止します。

ちょっとこれを!

- ファイル名は半角英数字と"_"(アンダースコア)、"−"(ハイフン)で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- 1枚のディスクおよびSDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合、MP3を選択して再生すると、JPEG形式のファイルが自動的にスキップされて再生されます。
- 1枚のディスクおよびSDカードにMP3とJPEGのファイルが記録されている場合、再生しているファイルの次または前のファイルがJPEGファイルの場合にスキップすると、JPEGのスライドショー再生になり、スキップ機能ではMP3再生には戻りません。
  この場合にJPEG再生を止めるには、メニューボタンを押し、次に ■ 停止ボタンを押してください。
- MP3再生には、レジューム機能はありません。

ファイルをとび越す/頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進むには
再生中に、▶▶I スキップボタンを押します。次のファイルの頭から再生します。

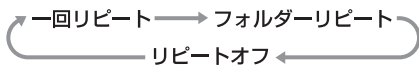
前のファイルへ戻るには
再生中に、I◀◀ スキップボタンを押します。1つ前のファイルの頭から再生します。

ちょっとこれを!

- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し(スキップ)をすることができます。

繰り返し再生する

再生中にリピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ
押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → (一回リピート)

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	再生中のファイルを繰り返す
フォルダーリピート	フォルダー全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生すると、停止する

ちょっとこれを!

- 電源を入/切したり、ディスクカバーを開閉したときにもリピート再生は解除されます。

JPEG ファイルを再生する

DATA

データCD（CD-R/RWなど）およびSDカードに記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEG ファイルの再生について

- ISO9660フォーマットに準拠したディスクのみ対応しています。
- パケットライト形式、マルチセッション形式には対応していません。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはJPEGのみ再生します。（シングルセッション時のみ）
- ファイル構成により、JPEGファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダー名は半角英数字と“_”（アンダースコア）、“－”（ハイフン）で入力されている場合のみ、表示されます。それ以外の文字は正しく表示されません。（日本語は表示されません）
- 読み込み可能なファイル数は最大600まで対応しています。ただし、読み込み可能なファイル数はライティングソフトにより異なることがあります。
- 読み込み可能なフォルダー数は299までの対応です。300を超えるフォルダーは再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きい場合は、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- 解像度は3072×2048まで表示可能です。
- JPEG CDおよびSDカードは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により再生できないことがあります。

JPEG ファイルを再生する

1 ディスクの場合は、「ディスクを再生する」 P23 の1～4の手順でディスクをディスクテーブルに置き、ディスクカバーを閉める
SDカードの場合は、「SDカードを再生する」 P33 の1～2の手順でSDカードを挿入する

ディスプレイにファイルブラウザ（ファイル/フォルダー一覧画面）が表示されます。

（例：）

フォルダー名　サブフォルダー　プレイ状態　プレビュー

00:00 00:00

\SANYO0\

--
SANYO2
CATALOG 1
CATALOG 2
CATALOG 3
CATALOG 4

解像度　2048　×　1536

ファイル　解像度　ステータス

プレビュー欄に、選択した画像ファイルのプレビューが表示されます。

- 解像度の数字が大きいファイルほど、他の機器に出力した画面表示はきれいになります。
- SDカード選択時は、ステータス欄に「SD」と表示されます。
- ディスクとSDカードの両方を入れているときは、DVD/SDボタンを押すことで切り換えができます。

2 ▲/▼/◀/▶（方向）ボタンを押して、見たい画像ファイルのあるフォルダーを選び、決定ボタンを押す

- ボタンを押すたびに、次または前のファイルまたはフォルダーへ移動します。
- フォルダー内のサブフォルダーを選ぶときは、対象のサブフォルダーを選択したあと、決定ボタンか ▶ ボタンを押すとサブフォルダーの内容が表示されます。
- ◀ ボタンを押すか、「_ _」の表示されたフォルダーを選択したあと、決定ボタンを押すと、前のフォルダー画面に戻ることができます。

3 ▲/▼（方向）ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

4 決定ボタンを押す

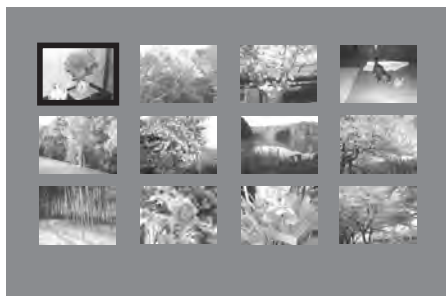
選択した画像から順にスライドショー再生されます。

ちょっとこれを！

- ファイル名は半角英数字と“_”（アンダースコア）、“−”（ハイフン）で入力されている場合のみ正しく表示されます。
- 1枚のディスクおよびSDカードにMP3形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合、JPEGを選択して再生すると、MP3形式のファイルは自動的にスキップされて再生されます。

スライドショー再生を途中で止める

メニューボタンを押す

スライドショー再生が停止し、サムネイル（縮小画像一覧）が表示されます。

再びスライドショー再生を始めるには

◀/▶（方向）ボタンを押して、見たい画像を選び、▶ 再生ボタンを押します。

ファイルブラウザ（ファイル一覧画面）に戻るには

▲（方向）ボタンを押します。

一時停止する

スライドショー再生中に、II 一時停止ボタンを押す

ディスプレイに「II」が表示され、再生中のファイルが一時停止します。

通常のスライドショー再生に戻すときは

▶ 再生ボタンを押します。

ファイルをとび越す／頭出しする(スキップ)

次のファイルへ進むには

スライドショー再生中に、▶▶I スキップボタンを押します。
ディスプレイに「 ▶▶I 」が表示され、次のファイルを再生します。

前のファイルへ戻るには

スライドショー再生中に、I◀◀ スキップボタンを押します。
ディスプレイに「I◀◀」が表示され、再生中のファイルの1つ前のファイルを再生します。

ちょっとこれを！

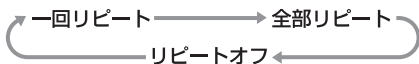
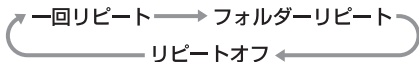
- 同一のフォルダー内でのみファイルのとび越し、または頭出し（スキップ）をすることができます。

繰り返し再生する

リピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ
押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

- スライドショー再生･サムネイル表示時に押した場合

一回リピート → 全部リピート → リピートオフ → 一回リピート

- ファイルブラウザ表示時に押した場合

一回リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → 一回リピート

ディスプレイ画面	動作
一回リピート	スライドショー再生中のファイルを繰り返し表示する
全部リピート フォルダーリピート	フォルダー全体を繰り返す
リピートオフ	リピート再生取り消し フォルダーの最後のファイルを再生すると、停止する

ちょっとこれを！

- 本機の電源を入/切したり、ディスクカバーを開閉すると、リピート再生は解除されます。

画像を拡大・縮小する(ズーム)

画像を拡大または縮小表示することができます。

1 スライドショー再生または一時停止中に、ズーム/番組表ボタンを押す

- 画像読み込み中は、ズーム/番組表ボタンは無効です。

2 画像を拡大するときは、►► 早送りボタン、画像を縮小するときは、◄◄ 早戻しボタンを押す

50%〜200%まで6段階に調整できます。

3 ▲/▼/◄/► (方向)ボタンを押して、拡大部分を移動させる

- 画面の端で移動が止まります。

元の画面サイズに戻すには
ズーム/番組表ボタンか |◄◄ スキップ ►►| ボタンを押します。

画像を回転する

スライドショー再生または一時停止中に、▼(方向)ボタンを押して、画像を回転させる
押すたびに画像が右回転します。

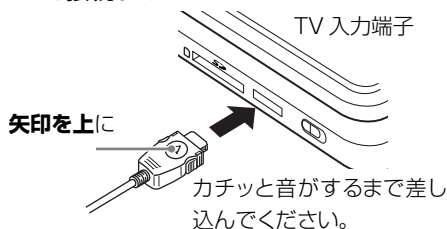
操作中に「⊘」がディスプレイに表示されたときは、ディスク、SDカードまたは本機がその操作を禁止しています。

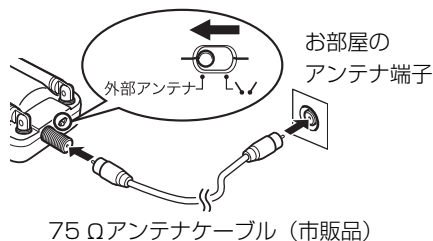
テレビチューナーを接続する

■ テレビチューナーを接続する

付属のテレビチューナー(地上アナログ放送用)を使って、屋外でも屋内でも本機をテレビとして使うことができます。
テレビチューナーは切り換えにより2種類の選択ができます。
1 ロッドアンテナ: 付属のロッドアンテナを使う
2 外部アンテナ: お部屋のアンテナを使う

1 本機の電源スイッチを「切」にする

2 本機のTV入力端子にテレビチューナーを接続する

3 テレビチューナーのアンテナ入力切換スイッチを「ロッドアンテナ」(ロッドアンテナ使用)側にする

お部屋のアンテナ端子につないだときは、アンテナ入力切換スイッチを「外部アンテナ」にします。

4 本機の入力/出力切換スイッチを「入力」側にする

5 テレビチューナーのアンテナを伸ばす

顔や目に当たらないように注意してください。お部屋のアンテナ端子に接続したときは、ロッドアンテナを伸ばす必要はありません。

■ 自動でチャンネルを設定する(オートプリセット)

左記の「■ テレビチューナーを接続する」の手順後に、以下をおこなってください。

1 本機の電源スイッチを「入」側にし、電源を入れる

テレビチューナーの接続表示ランプが点灯します。

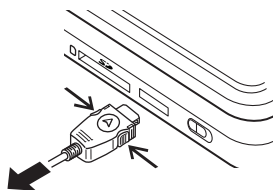
2 チャンネル設定ボタンを押す

ディスプレイに「自動設定」と表示され、VHF1チャンネルより、受信可能なチャンネルが自動的に記憶されます。

- CATVチャンネルを受信する場合は、TV/CATVボタンを押して「CATV」に切り換えてから、チャンネル設定ボタンを押してください。CATVの受信契約をしていない場合、自動設定しますと、テレビチャンネル(1～12ch)と同じチャンネルのみが設定されます。

受信できる範囲
VHF:1～12チャンネル
UHF:13～62チャンネル
CATV:C13～C63チャンネル

ご注意

- 受信状態が悪い場合は、テレビの受信映像はグレーになり映像はでませんが、故障ではありません。
- 電波が弱いと受信できない場合がありますので自動設定をおこなう場合は、外部アンテナに切り換えてから接続して自動設定をすることをおすすめします。
- 自動設定をおこなうと、設定済のチャンネルはすべて消えます。
- テレビチューナーのロッドアンテナに無理な力を加えると、破損および故障の原因になります。
- 本機からテレビチューナーを切り離すときは、プラグの左右のボタンを押しながら抜いてください。

■ チャンネルの削除

1 **▲チャンネル▼ ボタンや数字ボタンを押し、削除したいチャンネルを選ぶ**

2 **追加/削除ボタンを押して、ディスプレイに「削除」を表示させる**

- 選択されたチャンネルが削除されました。（ただし、削除したいチャンネルの画面はそのままですが、次にチャンネルを変えると画面が換わります。）
- ▲チャンネル▼ ボタンや数字ボタンを押し、他のチャンネルを選んでください。

■ チャンネルの追加

1 **数字ボタンを押し、追加したいチャンネルを選ぶ**

2 **追加/削除ボタンを押して、ディスプレイに「追加」を表示させる**

- 選択されたチャンネルが追加されました。

■ 地上デジタルテレビ放送への対応について

2011年7月までに地上アナログテレビ放送は終了し、地上デジタルテレビ放送に完全に移行することが国の法令によって定められています。
本機で地上デジタルテレビ放送をご覧頂くには、地上デジタルテレビ放送用デジタルチューナーを接続する方法（注1）とケーブルテレビで試聴する方法（注2）があります。

（注1）　地上デジタルテレビ放送に対応したアンテナ等が必要です。
（注2）　サービス形態や受信方法等についてはケーブルテレビ事業者にお問い合わせください。

■ アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されます。該当地域における受信可能エリアは、当初、限定されていますが、順次拡大される予定です。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。

テレビを見る

付属のテレビチューナーと接続したあと（「■ テレビチューナーを接続する」P39）、本機でテレビを見ることができます。

1 **本機の電源スイッチを「入」側にし、電源を入れる**

テレビチューナーの接続表示ランプが点灯します。

2 **本機の入力/出力切換スイッチを、「入力」側にする**

3 **TV/CATVボタンを押し、「TV」か「CATV」を選ぶ**

TV：地上アナログ放送（VHF/UHF）
CATV：ケーブルテレビ

4 **▲チャンネル▼ ボタンや数字ボタンを押し、見たいチャンネルを選ぶ**

数字ボタンでチャンネル番号を入力する場合は、2つの数字ボタンを押してください。
例：6チャンネル：0 → 6　38チャンネル：3 → 8

5 **テレビチューナーの、ロッドアンテナを伸ばし、方向を変えてきれいに映るように調節する**

お部屋のアンテナ端子に接続しているときは、ロッドアンテナを伸ばす必要はありません。

ご注意

- 移動しているときや、電波の弱い地域ではきれいに映らない場合があります。
- テレビ受信時の音声はモノラル（主音声）です。ステレオ音声や副音声を聞くことはできません。
- テレビの受信画像・音声は外部出力（デジタル音声出力端子）には出力されません。
- 外部入力で映像を見ているときにテレビチューナーを接続すると、テレビチューナーが優先され、外部入力は見ることができなくなります。
- アナログチューナー使用時は、ズーム/番組表ボタンを押しても映像は拡大しません。
- デジタルチューナー使用時は、ズーム/番組表ボタンを押しても映像は拡大せず、番組表を表示します。

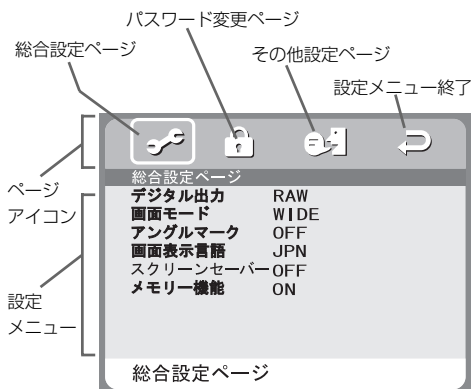
<各種設定はディスク情報が優先されます>

システム設定画面では、本機にさまざまな設定ができます。
各種設定は以下のページをご覧ください。

- 総合設定ページ P41
- パスワード変更ページ P44
- その他設定ページ P45

■ 各種設定を表示する

1 本機の入力/出力切換スイッチを「出力」側にする

2 設定ボタンを押し、システム設定画面を表示させる

3 ◀/▶ (方向)ボタンで設定したいページのアイコンを選び、決定ボタンを押す

選んだ設定ページに切り換わります。
もう一度 ◀ (方向)ボタンを押すと、手順**2**に戻って選びなおすことができます。

4 ▲/▼ (方向)ボタンで項目を選び、▲/▼/◀/▶ (方向)ボタンや数字ボタン、決定ボタンを使って設定する

設定項目についてくわしくは、各設定ページの説明 P41 、P44 、P45 をご覧ください。

■ システム設定画面を消すには

設定ボタンをもう一度押します。

総合設定ページ

1 設定ボタンを押して、システム設定画面を表示させる

2 ◀/▶ (方向)ボタンを押して、総合設定ページのアイコンを選び、決定ボタンを押す

■ デジタル出力

デジタル出力の設定ができます。

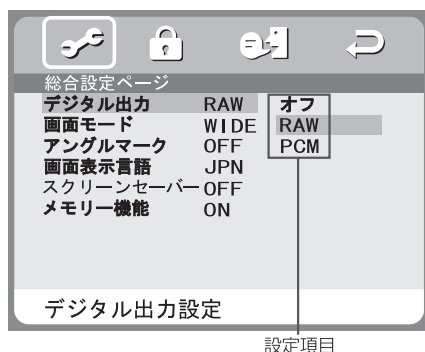
1 ▲/▼ (方向)ボタンを押して、設定メニューの「デジタル出力」を選ぶ

2 決定ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる

設定項目が選択されます。

3 ▲/▼ (方向)ボタンを押して、設定を選ぶ

4 決定ボタンを押して、設定を確定する

選択した設定に変更されます。

オフ:
デジタル音声出力端子からのデジタル信号の出力がオフになります。

RAW:
ドルビーデジタルを内蔵したオーディオ機器を接続したときに選びます。

PCM:
通常のオーディオ機器で再生するときに選びます。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力します。

システム設定

■ 画面モード

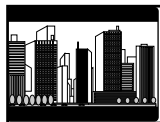
外部出力するときに接続するテレビに合わせて、出力する画面のサイズを設定します。

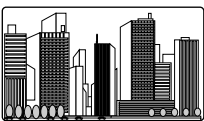
P41 ■ デジタル出力の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

ノーマル/PS(パンスキャン):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。パンスキャンに対応したワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、ワイド画面の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画面(16:9)のディスクではレターボックスで再生します。

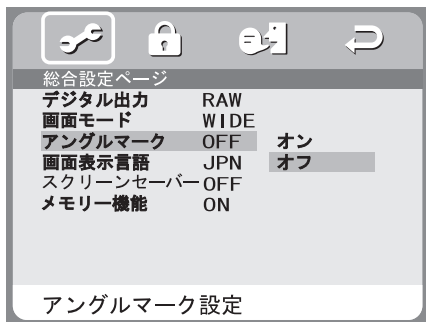
ノーマル/LB(レターボックス):

通常のテレビ(4:3)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生します。

ワイド:

ワイドテレビ(16:9)に接続したときに選択してください。ワイド画面(16:9)のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。ワイドテレビの表示モードで「フル」を選択してください。

● テレビに映し出される映像は、ソフトの種類や接続するテレビによって異なります。

■ アングルマーク

マルチアングルDVDを再生しているときに表示されるアングルマークの表示方法を設定します。

P41 ■ デジタル出力の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オン: アングルマークを常に表示
オフ: アングルボタンを押したときのみアングルマークを表示

■ 画面表示言語

システム設定画面、およびディスプレイに表示される本機の設定言語を設定します。
ディスクおよびSDカードの再生中や一時停止中は、「画面表示言語」は選択できません。

P41 ■ デジタル出力の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

日本語: 本機の設定画面を、日本語で表示します
英語: 本機の設定画面を、英語で表示します

■ スクリーンセーバー

液晶画面の焼付けを防ぐためにスクリーンセーバーを設定します。

P41 ■ デジタル出力の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オン: スクリーンセーバー機能は停止状態で約3分後に働きます。

オフ: 操作するまで画面は表示しつづけます。

■ メモリー機能

メモリー機能のオン、オフを設定します。

DVDやCDの再生中に電源スイッチを「切」にしても、またディスクカバーを開いた場合も、最後に再生していた部分を記憶しているため、ディスクカバーを閉じると前に再生していた部分から再生を始めます。(レジューム再生)

P41 ■ デジタル出力の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オン: メモリー機能オン

オフ: メモリー機能オフ

完全に停止(2回■停止ボタンを押し)したとき、メモリー機能は働きません。

ちょっとこれを!

- MP3とJPEGではこの機能は働きません。
- 違うディスクと入れ替えて再生すると、メモリーは消えます。

パスワード変更ページ

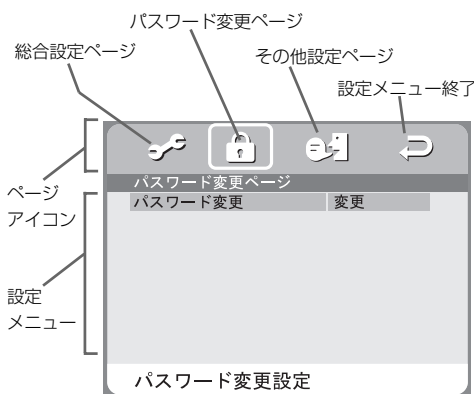
1 **設定ボタンを押して、システム設定画面を表示させる** P41

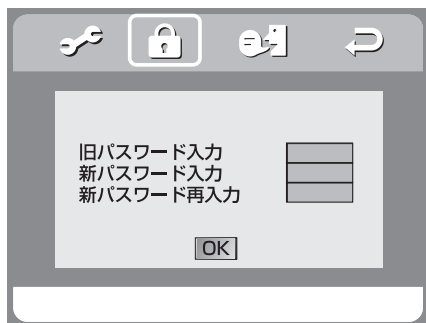
2 **◄/► (方向)ボタンを押して、パスワード変更ページのアイコンを選び、決定ボタンを押す**

■ パスワード変更

P46 ■ 視聴制限(視聴年齢制限設定)で必要になるパスワードの変更がおこなえます。

1 **決定ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる**

設定項目が択されます。

2 **決定ボタンを押す**

パスワード入力画面が表示されます。

3 **旧パスワード数字4桁を数字ボタンで入力する**

（画面下に「新パスワード入力」と表示される）
初期状態のパスワードは「3308」です。

4 **新パスワード数字4桁を入力する**

（画面下に「新パスワード再入力」と表示される）

5 **確認のため、もう一度新パスワード数字4桁を入力する**

6 **決定ボタンを押す**

新しいパスワードに変更されます。

パスワードを忘れたときは

初期設定のパスワード「3308」を入力します。

その他設定ページ

1 設定ボタンを押して、システム設定画面を表示させる P41

2 ◀/▶ (方向) ボタンを押して、その他設定ページのアイコンを選び、決定ボタンを押す

ディスクおよびSDカードが完全に停止しているとき P25 のみ、「その他設定ページ」を選択できます。

■ 音声言語

複数の音声が記録されている場合、希望の音声を選ぶことができます。

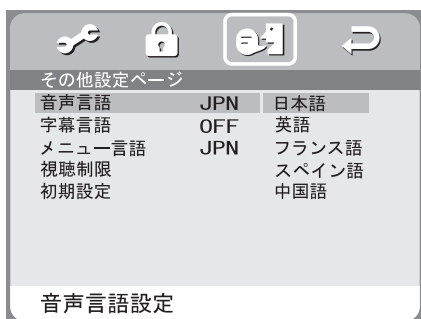
1 ▲/▼ (方向) ボタンを押して、設定メニューの「音声言語」を選ぶ

2 決定ボタンを押して、設定項目に選択を移動させる

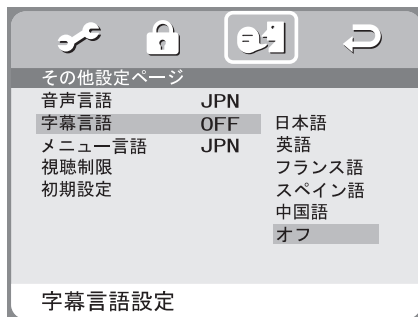
設定項目が選択されます。

3 ▲/▼ (方向) ボタンを押して、設定を選ぶ

4 決定ボタンを押して、設定を確定する

選択した設定に変更されます。

■ 字幕言語

複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示をオン/オフすることもできます。

■ 音声言語の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

オフ: 字幕非表示

■ メニュー言語

メニューの表示言語を設定します。

■ 音声言語の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

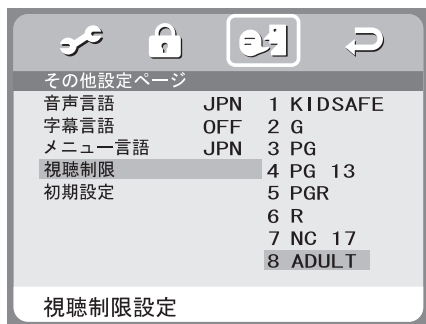
ちょっとこれを!

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- ディスクによっては設定を変更できない場合があります。

システム設定

■ 視聴制限(視聴年齢制限設定)

暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。
本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

P45 ■ 音声言語の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。
入力後、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力して決定ボタンを押してください。

1　2　3　4　5　6　7　8
制限大 ←→ 制限小

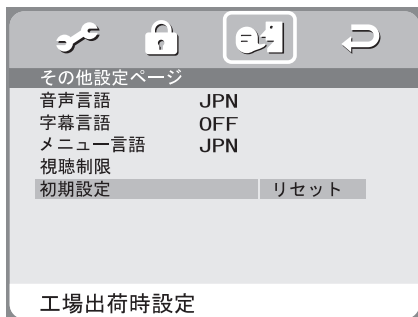
8 ADULT：　視聴制限なし

パスワードを忘れたときは

初期設定のパスワード「3308」を入力します。

■ 初期設定

工場出荷時の初期設定に戻します。「視聴制限」のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

P45 ■ 音声言語の手順**1**～**4**と同様に設定をおこないます。

故障？ その前にちょっとこれを！ つづく

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般（電源について）

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
電源が入らない	電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターが抜けている	コンセントに電源アダプター、またはカーバッテリーアダプターをしっかり差し込む	18
	バッテリーパックが充電できていない/はずれている	バッテリーパックを充電する/取り付ける	19、20
電源を入れてもすぐに切れる	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本機の電源を切り、電源アダプターを抜いて、約30秒経ってから差し込みなおして、電源を入れる	18
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック(落雷または過度の静電気)、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントから電源アダプターを抜き、バッテリーパックもはずして約5秒後にもう一度差し込む	18
画面が激しくちらつくノイズが出る	バッテリーパックでの動作モードで、充電池の残量がなくなっている	DC9V電源端子に電源アダプターを差し込む	18

映像について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
画像が出ない	**[外部機器への出力の場合]** AVコードがしっかりと接続されていない	AVコードをしっかりと差し込む	16
電源を切にしたとき、ディスプレイにしばらく残像や横線があらわれる	液晶の特性によるものです	故障ではありません（数分間放置すると消えます）	－

音声について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
音声が出ない	音量が下がっている	音量を調節する	22
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	10、11、12
	DTS音声を選択している	DVDメニューでDTS音声の選択を解除する	26
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	－
音声が途切れる	電気雑音の発生しやすいところで使用している	設置場所を変えてみる	－

ディスクおよびSDカード再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像や音声が出ない	入力/出力切換スイッチが「入力」側にある	入力/出力切換スイッチを「出力」側にする	23、33
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	9
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがあります	故障ではありません	–
再生が始まらない（または、すぐに停止する）	ディスクおよびSDカードが入っていない（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクおよびSDカードを入れる	23、33
	本機で再生できないディスクおよびSDカードが入っている（「不明ディスク」を表示）	再生できるディスクおよびSDカードの種類や、テレビ方式を確認する	10、11、12
	ディスクを裏返しに入れている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクの再生面を下にして入れる	23
	ディスクがななめに入っている（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをディスクテーブルの中央のホルダーにしっかりとはめ込む	23
	ディスクが汚れている、または傷がある（「ディスクを入れて下さい」を表示）	ディスクをきれいにする、またはディスクを交換する	9、23
	システム設定画面が表示されている	設定ボタンを押して画面表示を消す	41
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	46
	リージョンコードが違っている（「地域コードが間違っています」を表示）	リージョンコード2、もしくはALLのディスクを入れる	11
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	2～3時間放置する	8
	ディスクおよびSDカードに読み込みできない記録データが入っている	読み込みのできる記録データが入っているか確認する	–
	再生しようとしているフォルダー数が300を超えている	再生するフォルダー数が299以下のものに取り替える	34、36
音声/字幕が切り換えられない	複数の音声/字幕が入っていないディスクでは切り換えできません	故障ではありません	–
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります	故障ではありません	–

ディスクおよびSDカード再生について

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません	故障ではありません	−
	字幕が「オフ」になっている	字幕を設定する	32、45
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできます	故障ではありません	31
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある（「 ⊘ 」を表示）	故障ではありません	−
ビデオで録画できない	ほとんどのDVDディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できません	故障ではありません	−
ＭＰ３のディスクおよびSDカードが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない 、あるいは記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクおよびSDカードや記録状態の良いディスクおよびSDカードに交換する	34
ＭＰ３のディスクおよびSDカードで読み込み時間がかかりすぎる	入力されているファイル名が長すぎたり、ファイルの構成による場合がある	故障ではありません	34
JPEGを再生したあとに同じディスクおよびSDカードに入っているMP３が再生できない	MP3とJPEGが１枚のディスクおよびＳＤカードに入っている場合、JPEG再生後にMP3は再生できません	故障ではありません	37
ＤＶＤ再生中に画像が乱れる、または暗い	本機ではアナログコピープロテクト方式のコピーガードにも対応しています。そのため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、外部出力するテレビによっては一部画像に縞模様があらわれる	故障ではありません	−
ＤＶＤとCDのディスクによる音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	−

参考

故障？　その前にちょっとこれを！

不明ディスクおよび再生動作が不安定な場合

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
再生しない	再生ディスクのディスク面が汚れているか傷が付いている	ディスクをきれいにするかディスクを交換する	9
	DVDレコーダーにて、映像を記録したあとに、ファイナライズ処理をおこなっていない	記録したDVDレコーダーの使用方法に従い、ファイナライズ処理をおこなってください（VRモードで録画したDVD-RWであっても録画状態によってはファイナライズが必要です）	10

リモコンについて

症　　状	原　　因	処　　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本体の受光部に向ける	21
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約4m以内のところで操作する	21
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	21
	リモコンの電池が消耗している	電池を交換する	21
	本体のリモコン受光部に直射日光や照明（インバーター蛍光灯など）が当たっている	照明、または本体の向きを変える	21

テレビについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
SANYOロゴのみ出る	入力/出力切換スイッチが「出力」側にある	入力/出力切換スイッチを「入力」側にする	39、40
画像の映りが悪い、音声も出ない	テレビチューナーが接続されていない	テレビチューナーを接続してください	39
	アンテナの向きがずれている	ロッドアンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください	39、40
	アンテナケーブルが外部アンテナ端子からはずれている ロッドアンテナやアンテナケーブルが破損している	アンテナケーブルを正しく接続してください	39
画面に斑点が出る	自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアドイヤーなどから妨害電波を受けている	テレビチューナー、アンテナ、アンテナケーブルをそれぞれ原因になっているものからできるだけ離してください	−
二重三重に映る（ゴースト障害）	アンテナの向きがずれている 山や建物からの反射電波の影響を受けている	ロッドアンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください	−
色の付いた模様が出る	他のテレビやラジオ、パソコンファクシミリから出る妨害電波の影響を受けている	妨害を出しているものの電源を切ってみてください	−
色が消える	受信チャンネル設定がずれている	正しく受信チャンネルに合わせてください	39
雪が降ったような画面になる（スノーノイズ）	アンテナの向きがずれている	ロッドアンテナの位置、高さ、方向などを変えてみてください	39
	アンテナケーブルが切れたり、はずれている	アンテナケーブルを正しく接続してください	39

● 地上デジタル放送受信については、別売のワンセグチューナー DVF-DTV100をお使いください。P17

お願い

表示や動作に異常が生じたときは、本体の電源スイッチで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
それでもなおらない場合は、電源を切って電源アダプターを抜き、バッテリーパックもはずし、数秒後もう一度差し込んで操作しなおしてください。（落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。）

用語解説

[CPRM]:Content Protection for Recordable Media
記録可能なメディアに関する著作権保護技術の一つで、これに対応した録画機とメディア(DVD-RWなど)を使って「コピーワンス放送」を録画することができます。対応ディスクには、パッケージに「CPRM対応」と表示されています。

[JPEG]
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式（画像フォーマット）のひとつで、ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号で、ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

[MP3]
MP3とは、MPEG1、MPEG2、MPEG2.5オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

[MPEG]
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、映像圧縮および音声圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式で映像を圧縮記録しています。

[マルチ音声]
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大8種類まで記録することができ、その中からお好きな音声を選んで楽しむことができます。

[マルチ字幕（サブタイトル）]
映画などでおなじみの字幕です。DVDでは字幕を最大32種類まで記録することができ、その中からお好きな字幕を選んで楽しむことができます。

[マルチアングル]
通常のテレビ番組などは、テレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラ位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは、数台のカメラで同時に撮影し、その中の一つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

[視聴年齢制限]
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

[チャプター]
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば、希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

[リージョンコード]
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョンコード）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。
本機のリージョン番号は「2」で、本体底面部に表示されています。

[リニアPCM(LPCM)]
Linear Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。

[レターボックス]
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド（16:9）ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

アフターサービスについて

保証書について

この商品には保証書が付いています。お買い上げの販売店が発行します。保証書の「販売店・お買い上げ日」等の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

修理サービスについて

ご使用中に調子が悪くなったときは「故障？　その前にちょっとこれを！」(47～51ページ)の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 保証期間中は
保証書の記載内容により販売店が修理いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているときは
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

ポータブルDVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「お客さまご相談窓口」(56～59ページ)にお問い合わせください。

● 転居される場合は
ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合には、事前に販売店にご相談ください。

● ご贈答の場合は
最寄りの三洋販売店か、または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

必ずお読みください

本機を使用中、万一これらの不具合により再生されなかった場合、再生されなかったことによる損失の補償、または本機が使えなかったことによる付随的損害の補償については、ご容赦ください。

アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください

① 品番：　DVD-HP91T
② 症状：　できるだけ詳しく

長年ご使用のオーディオ機器の点検を ！

このような症状はありませんか？

● 電源アダプターやプラグが異常に熱い
● コゲくさい臭いがする
● 電源アダプターに深いキズや変形がある
● その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源アダプターをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

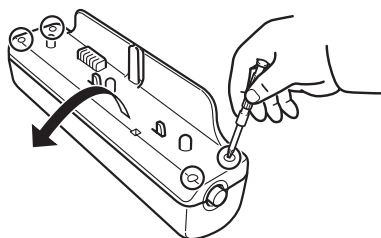
廃棄時の充電池の処理について

⚠ 警告（廃棄するとき以外は開けないでください）

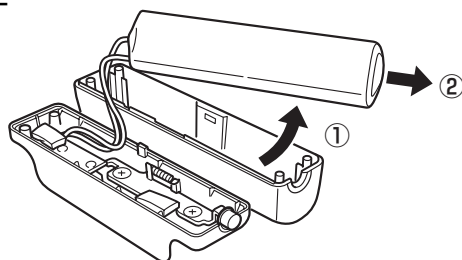
- 一度お客さまが開けられますと製品の補償はできません。バッテリーパックは廃棄するとき以外開けないでください。
- ぬれた手でバッテリーパックを分解しないでください。
- 必ず事前に、本機がバッテリーパックで動作しなくなったことをご確認ください。動作する状態では分解しないでください。

バッテリーパックを廃棄するときは、充電池のリサイクルにご協力ください。

廃棄時の充電池取りはずし手順

1 バッテリーパック裏面のビス4本をはずす

2 カバーを取り除き、中の充電池を持ち上げる

3 コードを抜き、充電池をはずす

お願い

取りはずした充電池は、お近くの販売店、もしくは各地方自治体の指示（条例）にしたがってリサイクル処理してください。

なお、取りはずした充電池は単品では販売しておりません。販売店にバッテリーパックとしてご注文くださいますようお願いいたします。P19

仕様

本体部	
電源	AC 100V ～ 240V 50/60 Hz (電源アダプター使用)
消費電力	10 W（待機消費電力 1.2W）
質量	約 843 g （バッテリーパックを含まず、本体のみ）
外形寸法	240（幅）×37（高さ）× 160（奥行）mm
スピーカー	28mm 円形（16 Ω）× 2
実用最大出力	0.2W＋0.2W
使用条件	温度：5℃～ 35℃
充電池	7.2V ニッケル水素電池
連続使用時間	約3時間30分（DVD連続再生でバックライトが最小、ヘッドホン使用、フル充電時）

端子部	
DC 入力	DC 9V 1.5A
ヘッドホン	適合インピーダンス 32 Ω（ミニピンジャック）
デジタル音声出力	ミニピンジャック× 1：0.5Vp-p/75 Ω
映像 / 音声（アナログ）入出力	入出力切換式 映像：1 Vp-p/75 Ω、音声：1.8V RMS
TV 入力	テレビチューナー接続端子

DVD/CDプレーヤー部	
信号方式	NTSC 方式
使用レーザー	半導体レーザー
音声周波数特性	DVD：4 Hz ～ 22 kHz、CD：4Hz ～ 20kHz
信号対雑音比（S/N 比）	90 dB 以上(JEITA)
全高調波ひずみ率	0.005%
ワウ・フラッタ	測定限界以下(JEITA)

液晶画面部	
型	9V 型
画面サイズ	約 197（幅）× 108（高さ）× 224（対角）mm
表示方式	透過型 TFT カラー液晶パネル
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス駆動方式
画素数	1,152,000（横800×縦480×3 (RGB)）（有効画素率99.99%以上）
視野角 *	左右 75度、上下 50度
使用光源	内部光（蛍光管内蔵）

テレビチューナー部	
受信方式	NTSC 方式
受信チャンネル	VHF：1 ～ 12、UHF：13 ～ 62、CATV：C13 ～ C63
アンテナ	VHF/UHF：75 Ω不平衡

付属品	
リモコン（リチウム電池 CR2025 付き）......... 1	ヘッドホン（インナーイヤー型）......................... 1
電源アダプター 1	AV コード 1
カーバッテリーアダプター 1	テレビチューナー (地上アナログ放送用) 1
保証書 1	バッテリーパック 1
本書（取扱説明書）... 1	

＊ 視野角はあくまで目安です。

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げ販売店へ …

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談　三洋電機(株) お客さまセンター

受付時間：9:00 ～ 18:30 (365日)

総合相談窓口　050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は、**大阪(06)-6994-9570** におかけください。
※郵便･FAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター　〒570-8677 大阪府守口市京阪本通 2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理サービスについてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日 ～ 金曜日　9:00 ～ 18:30　土曜･日曜･祝日　9:00 ～ 17:30

修理相談窓口	東コールセンター	関東･甲信越地区	東京 福島 新潟 長野	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
		北海道地区	札幌	050-3116-2333
		東北地区	宮城	050-3116-2444
	西コールセンター	近畿･北陸･四国地区	大阪 金沢 高松	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
		中部地区	名古屋	050-3116-2666
		中国地区	広島	050-3116-2777
		九州地区	福岡	050-3116-2888

沖縄地区	沖縄	098-944-5018

受付時間　月曜日～土曜日 9:00～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談　三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：　月曜日～土曜日　9:00～17:30　(日曜､祝日を除く)

持込み修理および部品については､各地区サービスセンターで承っております。

☆上記のお客さまご相談窓口の名称､電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした､お客さまのお名前､ご住所､お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また､お客さまの同意がない限り､業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き､第三者への開示は行いません。

<利用目的>

● お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は､商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお､この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

● 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合､委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに､適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページhttp://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

北 海 道 地 区

[北海道]	札幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	函館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	苫小牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
	旭川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	北見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
	釧路	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3丁目1番6号 青木ビル

東 北 地 区

[宮城県]	仙台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
[青森県]	青森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
	八戸	(0178)28-9225	〒039-1121	八戸市卸センター1-6-7
[岩手県]	盛岡	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
	水沢	(0197)23-6621	〒023-0003	奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45
[山形県]	山形	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
	酒田	(0234)23-3817	〒998-0842	酒田市亀ケ崎6-7-16
[秋田県]	秋田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
[福島県]	郡山	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

関 東 ・ 甲 信 越 地 区

[埼玉県]	さいたま	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
[栃木県]	栃木	(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
[茨城県]	茨城	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
	水戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
[群馬県]	群馬	(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
[新潟県]	新潟	(025)285-2431	〒950-0942	新潟市小張木2-16-43
	長岡	(0258)46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-9-4
	上越	(025)543-3535	〒942-0081	上越市五智1-11-8　齋藤オフィス
[東京都]	城東	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
	城北	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
	城西	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3丁目12番12号テック杉並
	武蔵野	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	相模原	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
[神奈川県]	戸塚	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
	京浜	(044)740-3530	〒211-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21
	平塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
[千葉県]	千葉	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌ヶ谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
[山梨県]	山梨	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

お客さまご相談窓口

中部・北陸地区

[愛知県]	名古屋	(052)979-3455	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-901サンエース徳川ビル1F
	名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
	岡崎	(0564)23-3418	〒444-0860	岡崎市明大寺本町1-20
[岐阜県]	岐阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
[静岡県]	静岡	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2丁目26-10
	沼津	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜松	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市本郷町123
[長野県]	松本	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
	長野	(026)299-9501	〒388-8006	長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
[石川県]	金沢	(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
[富山県]	富山	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
[福井県]	福井	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
[三重県]	三重	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2

近畿地区

[大阪府]	大阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14 三洋ビル2F
	大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
	阪和	(072)221-8571	〒590-0026	堺市向陵西町2-1-24
[京都府]	京都	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町26-1
	三丹	(0773)24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290番地　和久市岩掘ビル2F
[奈良県]	奈良	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
[滋賀県]	滋賀	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4丁目1-24　南井産業第3ビルB棟
[和歌山県]	和歌山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1
	田辺	(0739)22-7520	〒646-0051	田辺市稲成町南江原318
[兵庫県]	神戸	(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9　ピアザビル3F
	阪神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫路	(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡路	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1

中国地区

[広島県]	広島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
	福山	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
[岡山県]	岡山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
	津山	(0868)22-6133	〒708-0002	津山市上河原239-10
[鳥取県]	鳥取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
[島根県]	浜田	(0855)22-7883	〒697-0023	浜田市長沢町3049
	松江	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
[山口県]	山口	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四 国 地 区

[愛媛県]	愛　媛	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274番地
	四　国	(0896)23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2丁目732-4
[香川県]	香　川	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町片田1657-1
[高知県]	高　知	(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12
[徳島県]	徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

九 州 地 区

[福岡県]	福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
	北九州	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町2-4-7
	中九州	(0942)37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
[長崎県]	長　崎	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
	佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊　本	(096)388-3434	〒 861-8045	熊本市小山３丁目２番１１号 熊本トラックターミナル内
	八　代	(0965)35-3483	〒866-0871	八代市田中東町12-7
[大分県]	大　分	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
[宮崎県]	宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
[鹿児島県]	鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖 縄 地 区

[沖縄県]	沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売（株）サービス部

(240306I)

☆住所･電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

参考

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。修理などを依頼されるとき便利です。

品　　名	ポータブルDVDプレーヤー
品　　番	DVD-HP91T
お買い上げ年月日	年　　月　　日
お買い上げ店名	電話（　　　）　　-
もよりの修理ご相談窓口	電話（　　　）　　-

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は、下記の「総合相談窓口」へお問い合わせください。

相談受付時間

9:00～18:30 (365日)

総合相談窓口

050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は、
大阪(06)6994-9570におかけください。

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または56～59ページのお客さま修理相談窓口にお問い合わせください。

891TX15010G--
(JP0)

三洋電機株式会社

オートモーティブカンパニー

〒574-8534　大阪府大東市三洋町１番１号